



県内企業による活力ある産業振興をめざして

鹿児島県商工労働水産部
部長 酒匂 司

このたび、4月1日付けで商工労働水産部長に就任しました酒匂です。

県内企業及び関係団体の皆様には、かねてから本県の産業振興に多大な御尽力、御支援をいただき深く感謝申し上げます。

現在、我が国は、少子化の進行や超高齢化社会の到来、急速なグローバル化の進展など、社会のあらゆる面で大きな変革期を迎えています。

このような状況の中、国は経済財政運営と改革の基本方針2017において、5つの分野（健康寿命の延伸、移動革命の実現、サプライチェーンの次世代化、快適なインフラ・まちづくり、フィンテック）を戦略分野として設定しました。これらの分野は、日本が強みを生かせる分野として、政策資源を集中投資することとしています。

このような中、県におきましては、経済の回復や雇用の安定・確保に努めつつ、鹿児島が明るい展望を持って着実に歩みを進めるため、各般の施策を積極的に推進していくこととしており、製造業の振興については、「かごしま製造業振興方針」に基づき、自動車、電子、食品の重点業種に加え、成長が見込まれる環境・新エネルギー産業などを中心に、企業誘致や県内企業の振興等、産学官が一体となった取組を進めているところです。

具体的には、創業や新分野への進出等に対し、経営計画の策定、研究開発、設備投資等及び新産業の創出を支援する「中小製造業者創業・新分野進出等支援事業」、新技術・新製品の研究開発を支援する「重点業種研究開発支援事業」、食品関連企業の付加価値向上に向けた取組を支援する「食のプレミアム商品開発支援事業」や食品加工

技術の強化を図るため機械装置等の研究開発を支援する「食品加工技術レベルアップ支援事業」などに取り組むこととしています。

このような中、工業技術センターは、県内企業の「技術の拠りどころ」として、本県産業の技術ニーズを踏まえた研究開発を行うとともに、技術相談・指導、依頼試験・分析、設備機器使用等の技術支援を行っています。

本年3月に工業技術センター中期業務計画を改訂し、県内企業の工業技術に関する支援機関として、①企業ニーズに基づく技術支援、②技術シーズの橋渡しによる県内産業の振興、③多様な連携によるものづくり支援の3つの業務を柱として、県内企業の活動を支援いたします。

本年度の研究開発は、重点課題として「地域資源の高度利用」、「新素材・新材料開発」、「生産・加工システム」、「バイオ・食品」、「環境・生活・デザイン」、「電子・情報」の6分野で12テーマ、また新技術の開発をめざす技術創出（シーズ）研究として3テーマ、企業ニーズに対応した技術高度化（ニーズ）研究として4テーマを実施しております。その他にも九州・山口各県工業系公設試連携促進事業や公募提案型受託研究などにも取り組むこととしております。

工業技術センターは昭和62年に設立され、本年12月で創立30周年を迎えます。皆様におかれましては、新事業の創出や新製品の開発に向けて工業技術センターを積極的に活用していただき、本県地域経済の活性化につなげていただきたいと思いますので、引き続きどうぞ宜しくお願いいたします。